

(声明)

戦争法案(安保関連法案)の強行を前に、医師・歯科医師に呼びかける
「守ろう平和、守ろう医療」の声をあげ行動へ、安倍政権退陣を求め連帯を広げよう

2015年8月17日

ドクターズ・デモンストレーション実行委員会
代表世話人 植山直人(全国医師ユニオン代表)

住江憲勇(全国保険医団体連合会会長)

本田宏(医療制度研究会副理事長)

連絡先 全国医師ユニオン事務所内

TEL03-5825-6138 FAX03-5825-6139

メール:dr-union@nifty.com

ドクターズ・デモンストレーション実行委員会は、2011年に、震災復興・医療再生をスローガンに、医師増員、医療崩壊阻止を訴えてスタートし、これまで数多くの取り組みをおこなってきた。

現在、安倍内閣は戦争法案を衆議院で強行採決し、今国会で強行する姿勢を崩していない。私たちは生命をまもる医療者として、いのちを奪い奪われる、戦争のための法案に断固反対する。

今、おびやかされているのは平和だけではない。原発事故収束の見通しすらたっていない中で川内原発の再稼働、震災復興もままならない中で東京オリンピックへ巨費の投入、沖縄の人たちにさらなる苦しみを押し付ける辺野古基地移転、日本の経済をアメリカに売り渡す TPP 合意など、国民のいのちとくらしのあらゆる分野が重大な危機に晒されている。医療についても、医療崩壊の根本的な原因は放置されたまま、さらなる国民負担と医療者への犠牲が強いられている。

ドクターズ・デモンストレーション実行委員会は、このような国民のいのちとくらしに直結する重大局面にあたり、すべての医師・歯科医師が「守ろう平和、守ろう医療」の声をあげ、たちあがることをよびかける。同時に、安倍自公政権の退陣を求め、いま抗議の声をあげている幅広い人たちとの連帯を強める。そのためのアピール行動として、この秋、11月3日に再びドクターズ・ランニングを東京で開催し、「守ろう平和、守ろう医療」の声を広く発信する。

以上